

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	18094
課題名	大動脈末梢動脈救急治療における医療機関連携に関する多施設観察研究
研究期間	西暦 2018年8月8日（実施許可日） ～ 2026年 3月 31日
研究の対象	救命救急治療目的で旭川医科大学病院心臓外科・血管外科に紹介された方
利用する試料・情報の種類	<p>■診療情報（当院への大動脈末梢動脈救急相談件数、緊急搬送の有無、搬送された場合には発症から旭川医科大学病院での治療開始までの時間、旭川医科大学病院における入院日数、救命率、治療経過）</p> <p><input type="checkbox"/>手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ）</p> <p><input type="checkbox"/>血液</p> <p>■その他（医療者へのアンケート調査、研究参加施設の質的評価（登録調査））</p>
外部への試料・情報提供	<p><input type="checkbox"/>自施設のみで利用</p> <p>■多施設共同研究グループ内（ ）</p> <p><input type="checkbox"/>その他（提供先： ）（提供方法： ）</p>
研究組織	<ul style="list-style-type: none"> ・研究代表機関：旭川医科大学 外科学講座教授： 東 信良 ・同血管・呼吸・腫瘍病態外科学分野：菊地信介、吉田有里 ・同心臓大血管外科学分野： 紙谷寛之 ・同経営企画課（医療情報担当）： 林 弘樹 ・共同研究機関： 弘前大学医学部附属病院心臓血管外科（近藤慎吾・皆川正仁）、秋田大学医学部附属病院心臓血管外科（山本浩史）、福島医科大学病院心臓血管外科（今坂堅一）、自治医科大学さいたま医療センター（山口敦司）、慈恵会医科大学柏病院心臓血管外科（戸谷直樹）、信州大学病院心臓血管外科（和田有子）、和歌山県立医科大学病院心臓血管外科（西村好晴）、大分大学病院心臓血管外科（宮本伸二）、鹿児島大学病院心臓血管外科（曾我欣治）、東北大学医学部附属病院心臓血管外科（斎木佳克・伊東校輝）、東北大学病院総合外科（赤松大二郎・芹澤玄）山形大学附属病院心臓血管外科（内田徹郎）、神戸大学心臓血管外科（岡田健次・辻本貴紀）
研究の意義、目的	<p>地域医療機関から本院に搬送されてくる血管外科・心臓外科分野の救急症例は患者到着後、速やかな治療開始が求められますが、そのためには患者さんが到着する前にあらかじめ治療用医療機器や手術機器および手術室を準備できていることが理想的であり、それが治療成績向上につながると考えております。</p> <p>近年 ICT（情報通信技術）が進歩し、これを遠隔医療に応用しようとする動きの中、遠隔医療相談アプリ”JOIN”が開発され、2016年から本研究を主導する旭川医科大学病院において心臓血管外科救急に JOIN を応用しその有用性と安全性が検証されてまいりました。今回、そうした病院間情報伝達の実情を全国多施設で調査するとともに、心臓血管外科救急においても ICT を用いた遠隔医療相談がどういった疾患、状況で有用であるのかを観察することを目的に本研究を計画いたしました。</p>

	<p>この研究には、2017年1月1日から2021年12月末日までに全国13施設の参加施設で心臓血管外科緊急手術を受けられた患者さんを対象としており、遠隔医療を利用せずに電話連絡や救急隊経由で搬送された患者さんも遠隔医療相談システムを利用した情報連携のもとで搬送された患者さんも対象となります。遠隔医療は、当共同研究機関（A病院とする）との間でJOINなどの遠隔医療相談システムを用いた病院間情報伝達連携関係にある地域病院（B病院とする）において、心臓血管救急患者が発生、あるいは搬入された場合に利用されるもので、B病院で撮影した画像などの診療情報をA病院にクラウド上で送信し、患者さんがA病院に到着する前に、病状の詳細や精細な画像をA病院の専門医や関連する各種診療科医師、看護師、臨床検査技師などに伝えるシステムです。救急患者が専門病院到着前に、専門医による画像評価ができ、同時に複数の医師や多診療科・多職種で検討が行えるようにすることで、緊急手術例であっても濃厚な術前検討を行い、適確な治療方針決定を行うメリットもあると考えられます。さらに、正確な情報をもとに、あらかじめ手術室を確保したり、必要が医療機器・器具を準備したりすることで、有用であると考えておりますが、この新しい情報連携の仕組みによる医療の質の向上が全国のいろいろな医療環境の中でどういった地域状況でどういう症例で有用であるのかを観察評価することが必要と考え、それを明らかにすることを本研究の目的としております。加えて、A病院の専門医がB病院から相談される症例の画像情報を閲覧して救急搬送の是非を判断することで、不要不急の病院間搬送を低減して、搬送に伴う医療者や患者さんの負担を軽減することも観察し、広域医療の改革に資する効果を検証することも意義があると考えております。</p>
<p>研究の方法</p>	<p>本研究に参加している当院の心臓外科・血管外科に救命救急治療目的で紹介された患者さんが対象となります。</p> <p>調査項目として、当院到着から治療開始までの時間、ICT利用の有無、治療内容、治療経過を調査・観察・解析いたします。調査は当院へ緊急搬送された患者さんと、相談のみで実際には搬送されなかった患者さんも含みます。</p> <p>また、こうした緊急を要する疾患治療においては病院全体の機能・質が治療成績に影響を与える可能性を考慮して、病院の年間手術数や循環器救急受け入れ体制などの質的指標を調査いたします。</p> <p>さらに、医療者がこの新たな情報通信システムを使用して、どのような利点・効果あるいは欠点を実感しているのか、情報通信に関わる専門医、その他の診療科医師（麻酔科、救命救急科等）、看護師等にアンケート調査を実施いたします。</p>
<p>その他</p>	<p>当研究は、当大学の倫理委員会の承認を経て研究機関の長の実施許可を得て実施される臨床研究であります。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p>

また、診療情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

なお、情報通信につきましては、総務省、厚生労働省、経済産業省に示す基準を満たしたシステムを使用し、医療機器として認定を受けたアプリケーション（添付資料を参照ください）を用いて行われております。また、医療者に使用している通信端末には、画像その他の情報が残らない仕組みになっており、情報遺漏のないよう万全を期しておりますが、情報管理について疑義等ございました場合についても下記にご連絡・ご相談ください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究代表者：

旭川医科大学 外科学講座血管・呼吸・腫瘍病態外科学分野 東 信良

郵送先住所：〒078-8510 旭川市緑が丘東2条1丁目 旭川医科大学外科学講座
血管外科学分野

電話 0166-68-2494 、FAX 0166-68-2499